

令和4年度健康実態調査の結果について（概要）

※【 】で表記した部分は、同一の質問項目に関する昨年度の集計結果である。

1.調査の目的

平成24年9月に「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」が施行され、「カネミ油症患者に関する施策の推進に関する基本的な指針」（厚生労働省・農林水産省告示）に基づき、カネミ油症患者の生活習慣、病状、治療内容等について把握し、カネミ油症に関する調査研究を更に推進することを目的とする。

2.調査期間

令和4年4月～6月末

3.調査対象及び回答者

各都道府県で把握している1,529人の認定患者（令和4年3月31日時点の調査対象見込者数、前年度1,553人）のうち、死亡や所在不明の方、非協力の意向を示された方等を除いた1,304人【1,344人】から回答を得た。

4.調査項目

平成20年度に厚生労働省が実施した油症患者に係る健康実態調査の調査項目を元に、全国油症治療研究班（厚生労働科学研究費補助金による）で、カネミ油症患者の意見を聞きつつ決定した生活習慣、健康状態や悩み、治療状況、これまでにかかったことのある病気・症状などの項目を調査した。

5.調査結果の活用

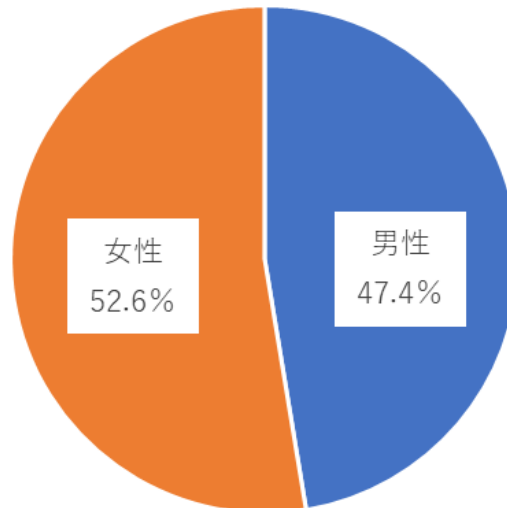
調査結果については、アンケートに基づく調査の医学的・科学的解釈の限界に留意しつつ、全国油症治療研究班（厚生労働科学研究費補助金による）において、過去の健康実態調査及び過去の検診結果等と併せてより詳細な解析を行い、翌年度以降の健康実態調査項目などカネミ油症に関する調査研究に活用される予定である。

6.調査結果の概要

(1) 性別

・男性 618 人【641 人】、女性 686 人【703 人】、不詳 0 人【0 人】

回答者の男女比



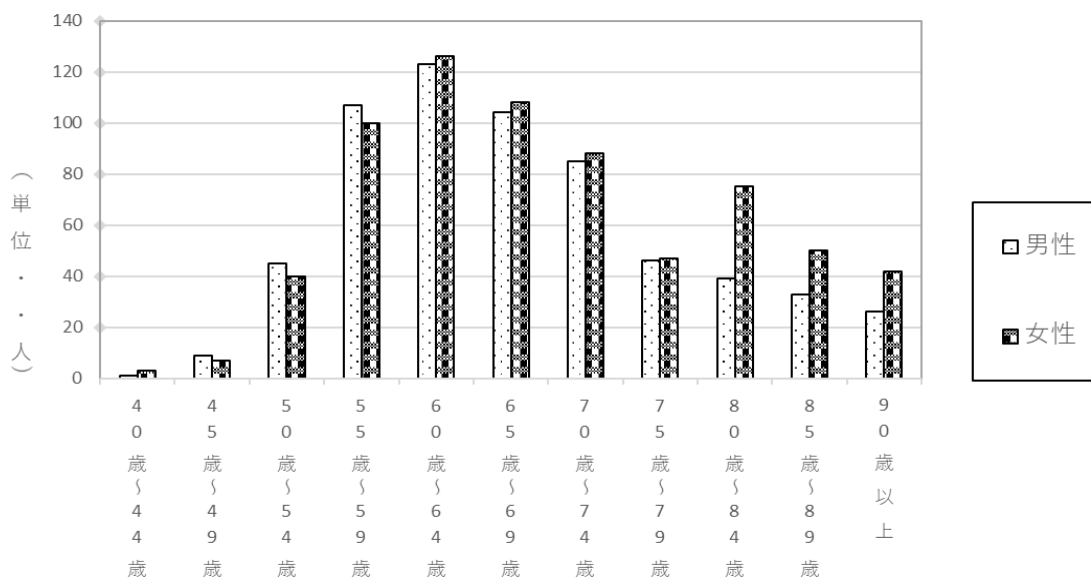
(2) 年齢

・平均年齢は 68.5 歳【68.0 歳】であった。

男性 67.4 歳【66.9 歳】、女性 69.5 歳【69.0 歳】

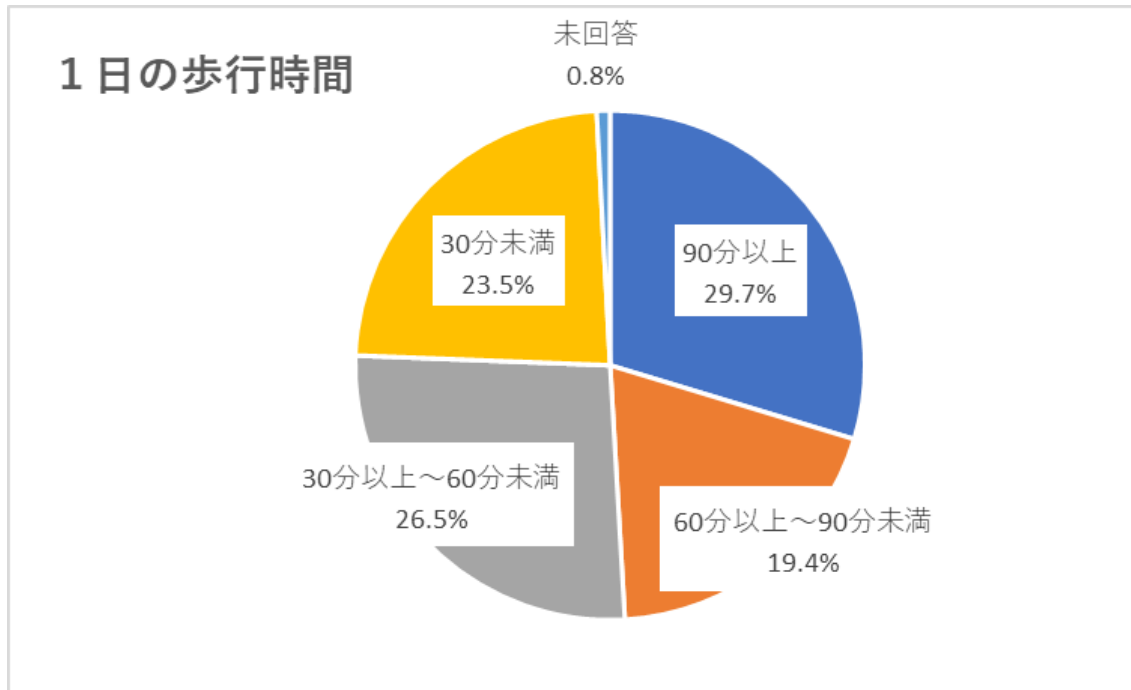
・男性は、「60～64 歳」の者が 19.9%【19.2%】と最も多く、次いで、「55～59 歳」が 17.3%【16.1%】、「65～69 歳」が 16.8%【16.7%】の順であった。

・女性は、「60～64 歳」の者が 18.4%【17.5%】と最も多く、次いで、「65～69 歳」が 15.7%【15.8%】、「55～59 歳」が 14.6%【15.4%】の順であった。

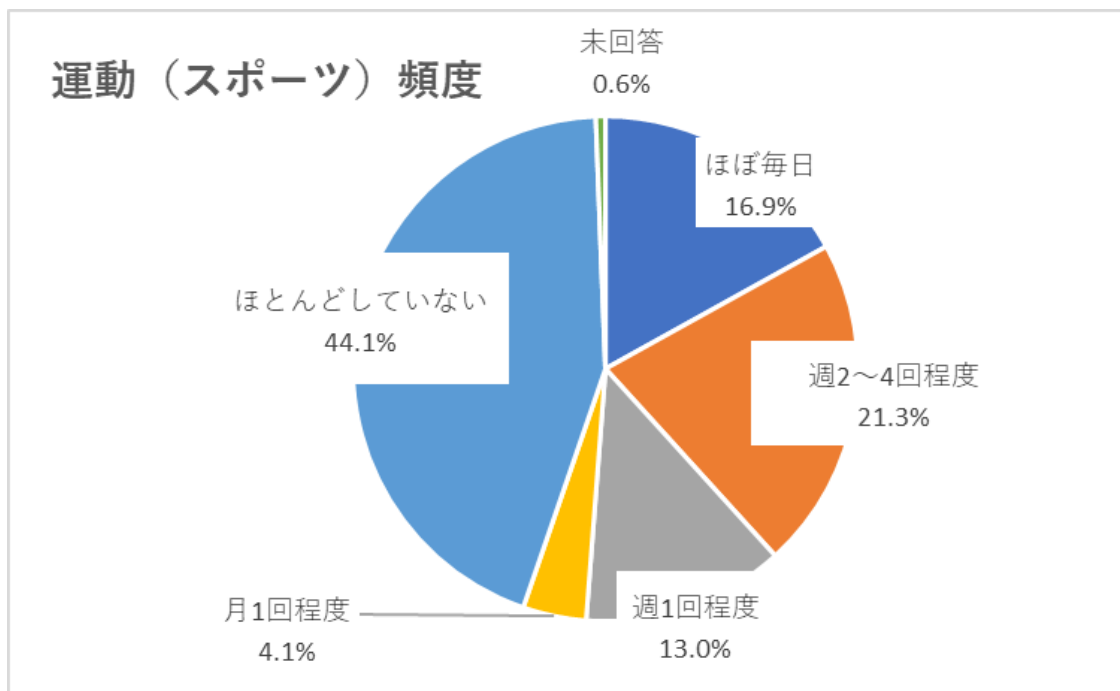


(3) 生活習慣について

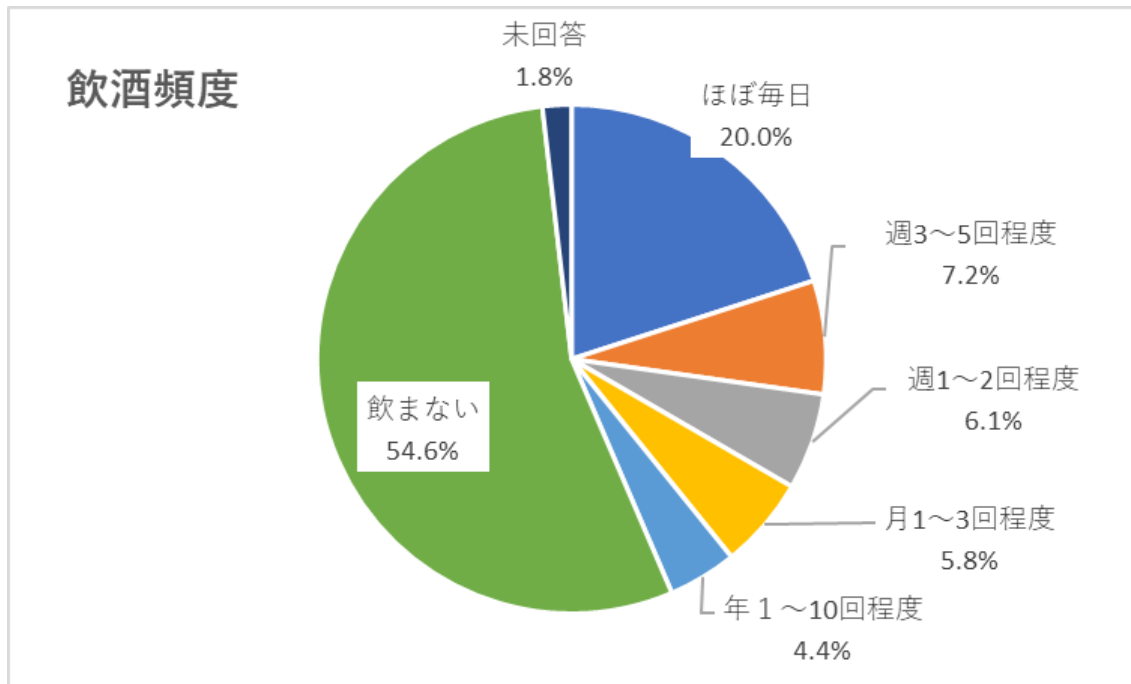
・1日の歩行時間についてみると、「90分以上」と回答した方が29.7%【29.7%】と最も多く、次いで、「30分以上～60分未満」が26.5%【26.9%】、「30分未満」が23.5%【23.1%】の順であった。



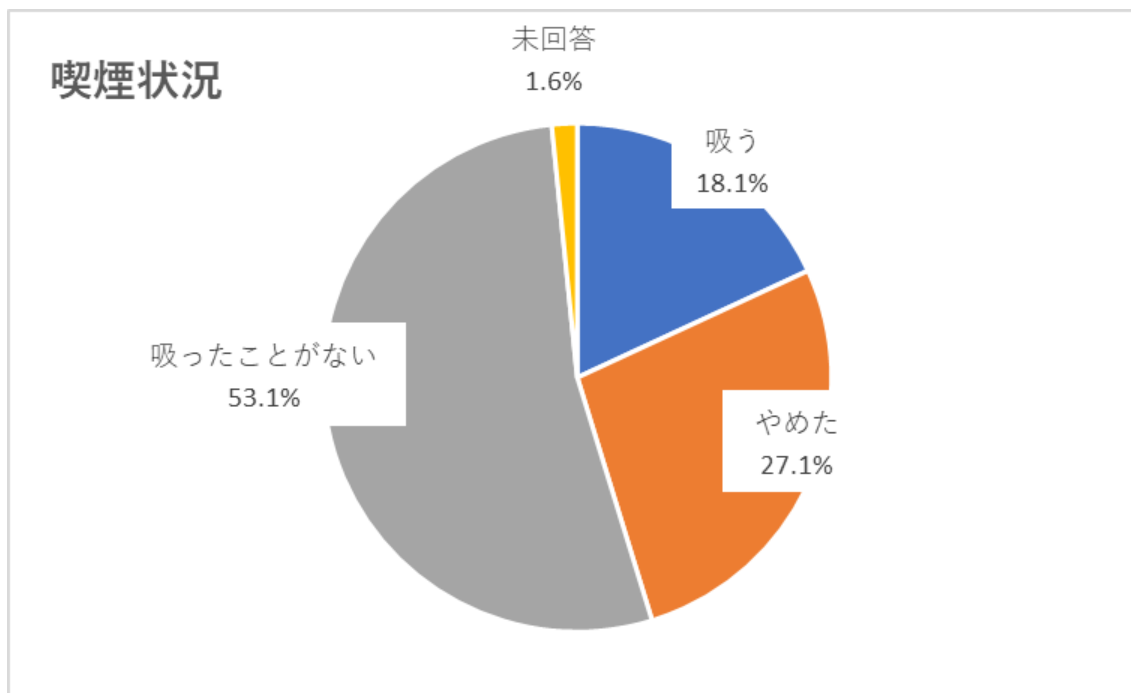
・運動（スポーツ）頻度についてみると、「ほとんどしていない」と回答した方が44.1%【43.8%】と最も多く、次いで、「週2～4回程度」が21.3%【21.4%】、「ほぼ毎日」が16.9%【16.4%】の順であった。



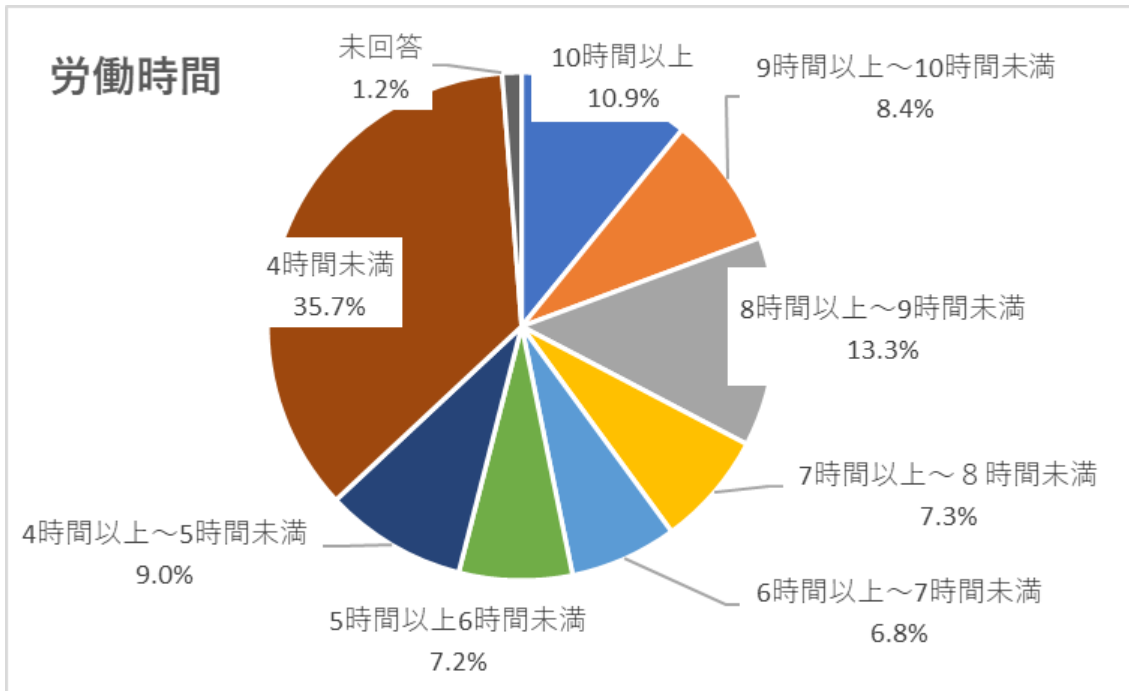
・飲酒頻度についてみると、「飲まない」と回答した方が54.6%【54.3%】と最も多かった。



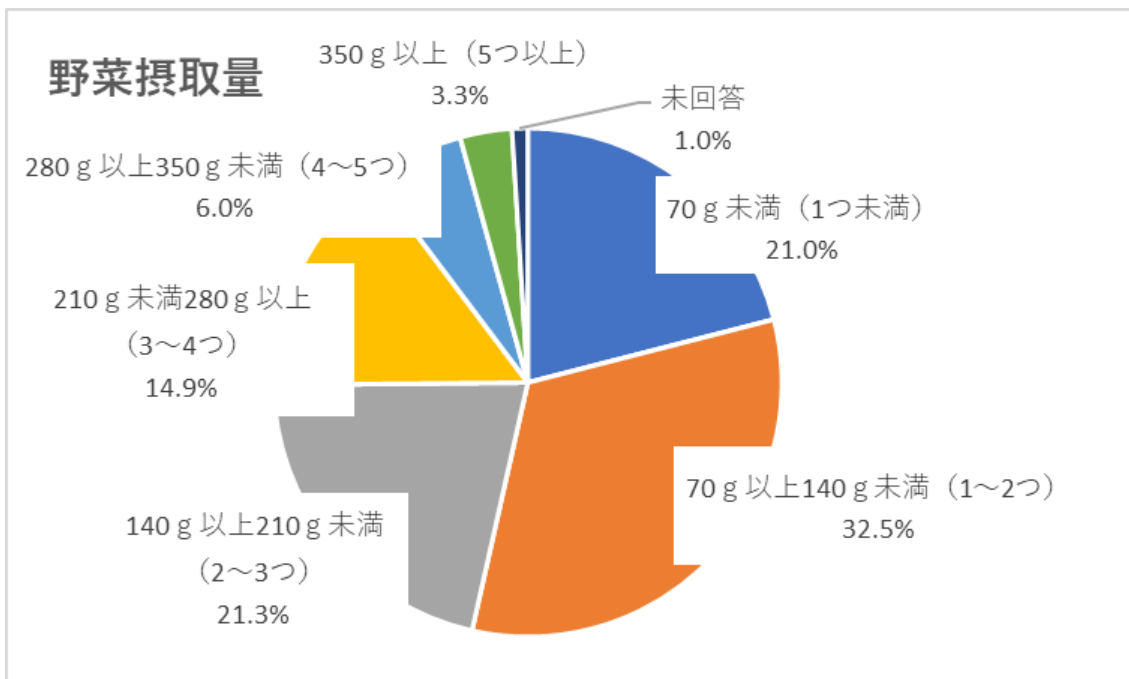
・喫煙状況についてみると、「吸ったことがない」と回答した方が53.1%【52.7%】と最も多かった。



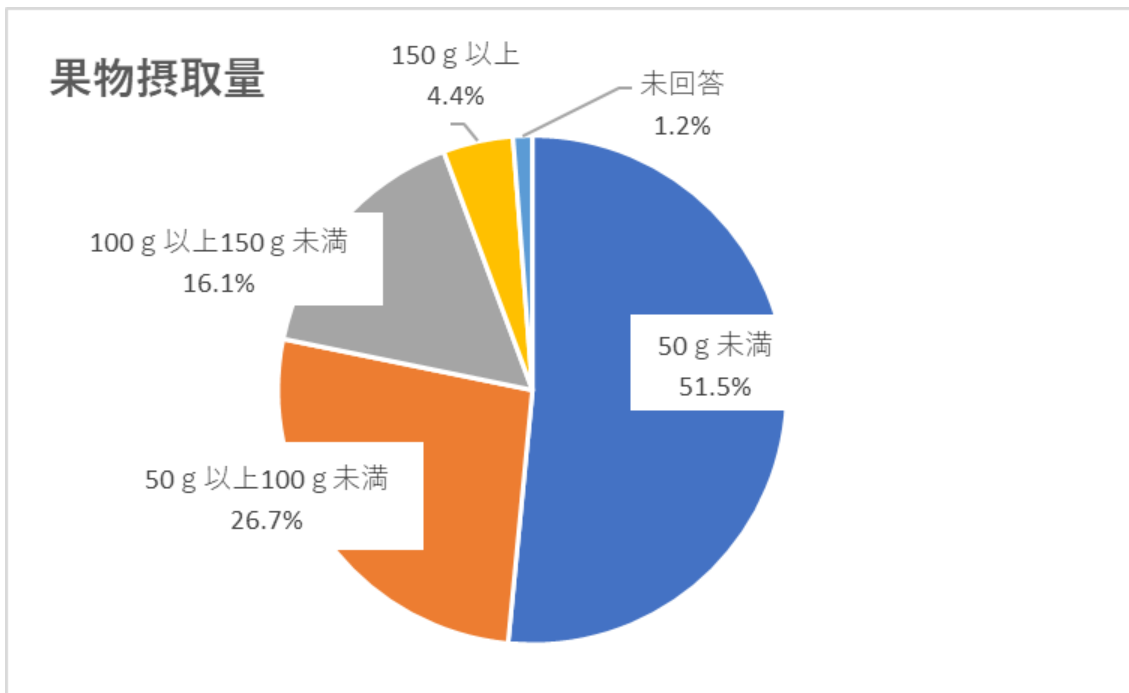
・労働時間についてみると、「4 時間未満」と回答した方が 35.7% 【35.1%】 最も多く、次いで「8 時間以上 9 時間未満」が 13.3% 【12.9%】、「10 時間以上」が 10.9% 【11.2%】 の順であった。



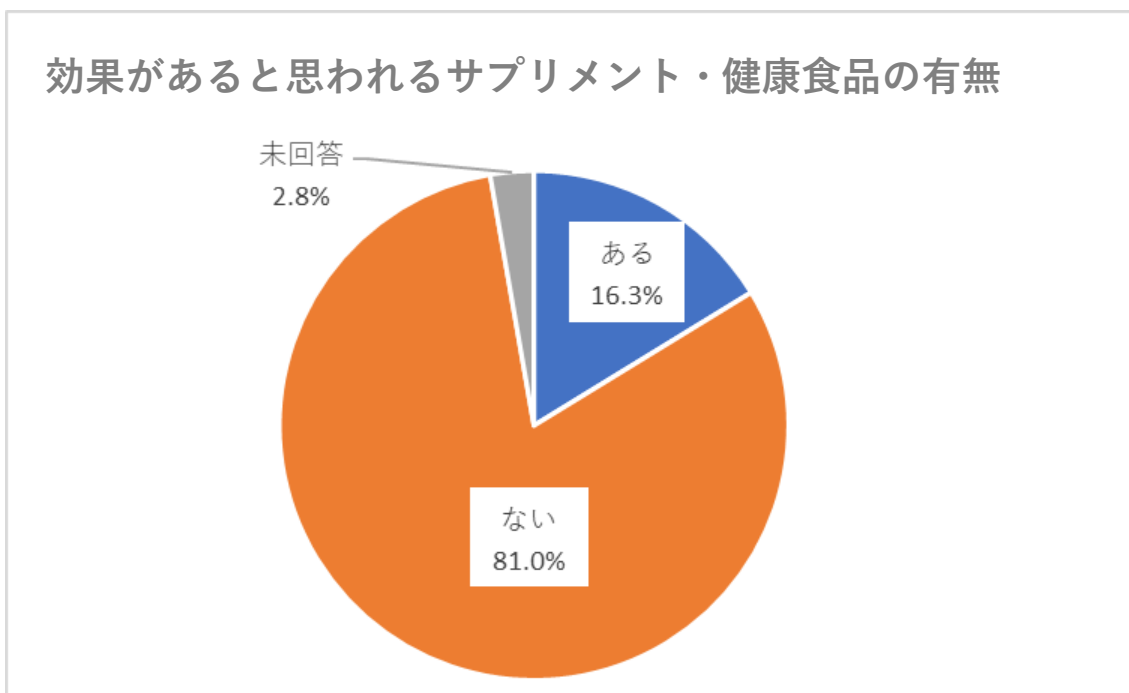
・野菜摂取量についてみると、「70g 以上 140g 未満 (1～2 つ)」と回答した方が 32.5% 【33.1%】 と最も多く、次いで、「140g 以上 210g 未満 (2～3 つ)」が 21.3% 【21.4%】、「70g 未満 (1 つ未満)」が 21.0% 【19.6%】 の順であった。



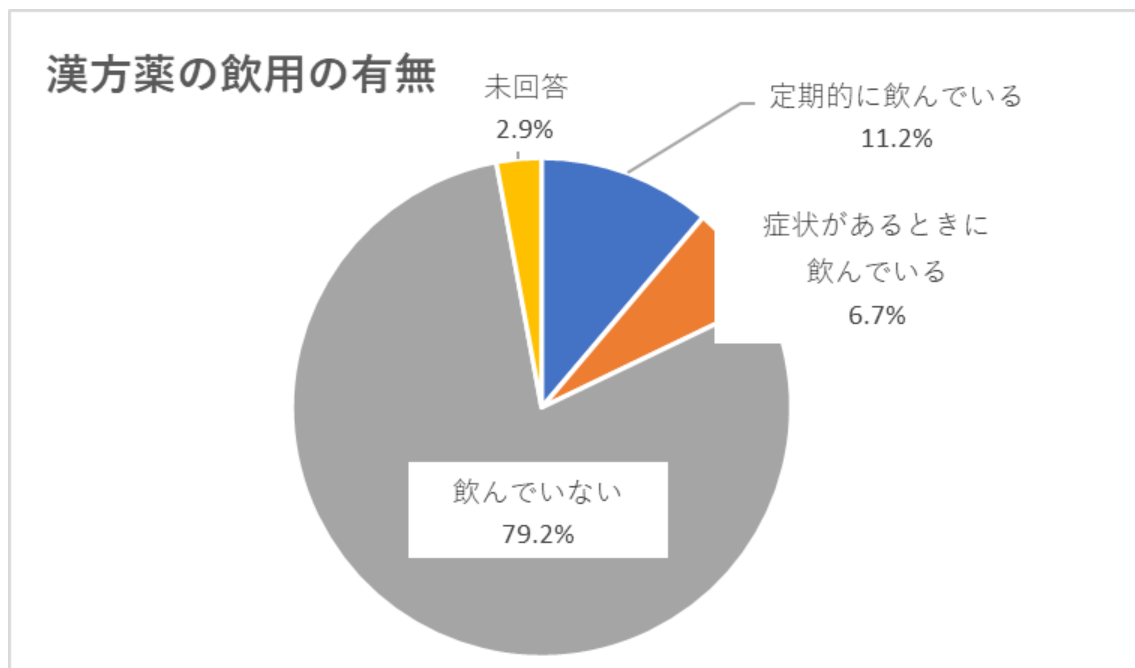
・果物類摂取量についてみると、「50g 未満」と回答した方が 51.5%【49.0%】と最も多く、次いで、「50g 以上 100g 未満」が 26.7%【30.6%】、「100g 以上 150g 未満」が 16.1%【14.1%】の順であった。



・効果があると思われるサプリメント・健康食品の有無についてみると、16.3%が「ある」と回答した。

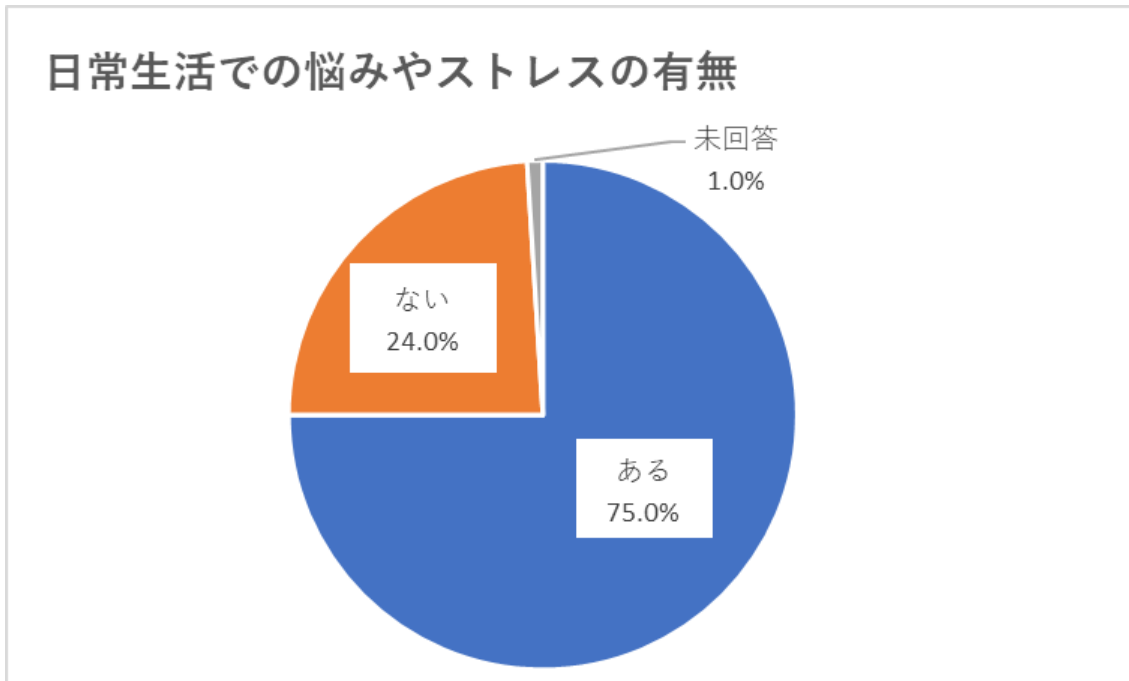


・常用している漢方薬の有無についてみると、「定期的に飲んでいる」が11.2%、「症状があるときに飲んでいる」が6.7%と回答した。



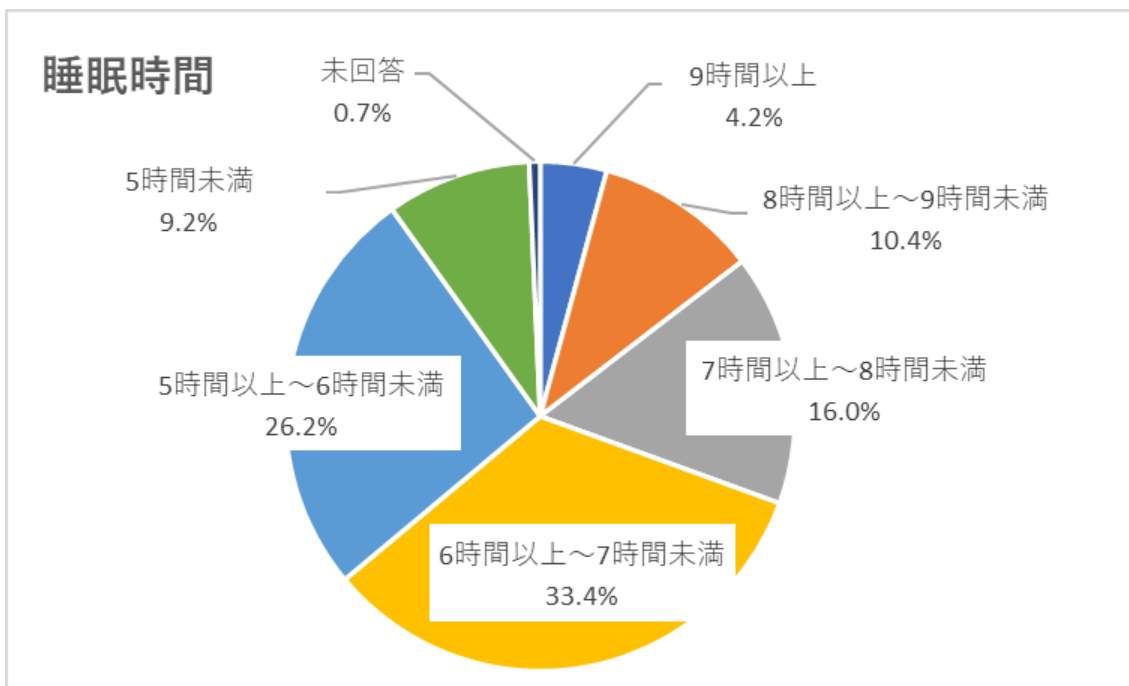
(4) 健康・悩み・ストレスについて

・日常生活での悩みやストレスについて、「ある」と回答した方は 75.0%【72.6%】であった。



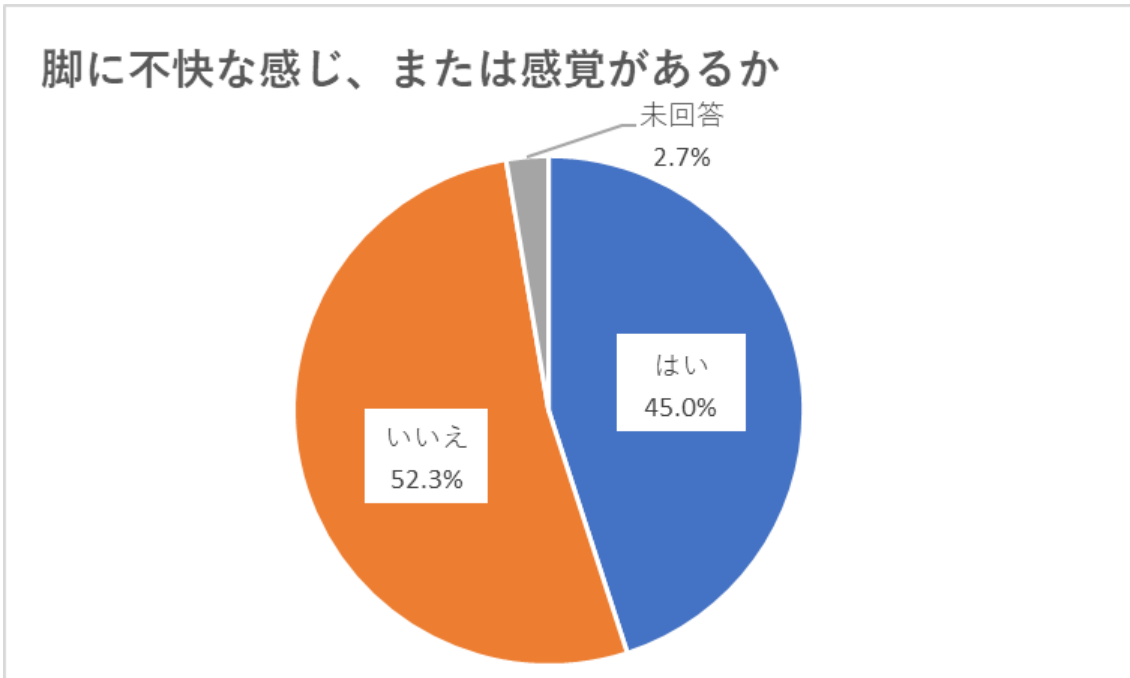
・日常生活での悩みやストレスがあると回答した 978 人【976 人】を対象に、悩みやストレスの最も気になる原因（1つ）を質問したところ、「自分の健康状態、病気や介護」と回答した方が 413 人（42.2%）【371 人（38.0%）】と最も多かった。

・睡眠時間についてみると、「6 時間以上 7 時間未満」と回答した方が 33.4%【34.7%】と最も多く、次いで、「5 時間以上 6 時間未満」が 26.2%【23.9%】、「7 時間以上 8 時間未満」が 16.0%【15.9%】の順であった。

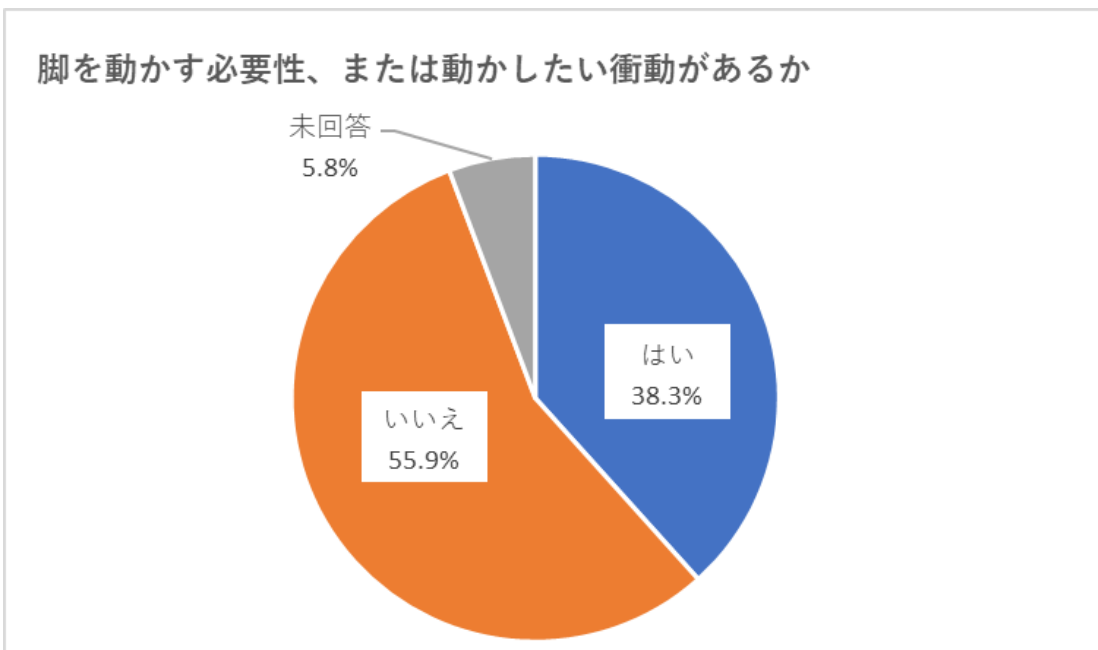


・睡眠時間のとれている度合いについてみると、「夜間、睡眠途中で目が覚めて困った。」と回答した方が48.3%【44.6%】と多く、次いで、「日中、眠気を感じた。」が38.3%【37.2%】、「睡眠全体の質に満足できなかった。」が34.2%【34.7%】の順であった。

・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚についてみると、「はい」と回答した方は45.0%【45.8%】であった。



・座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動についてみると、「はい」と回答した方は38.3%【39.9%】であった。



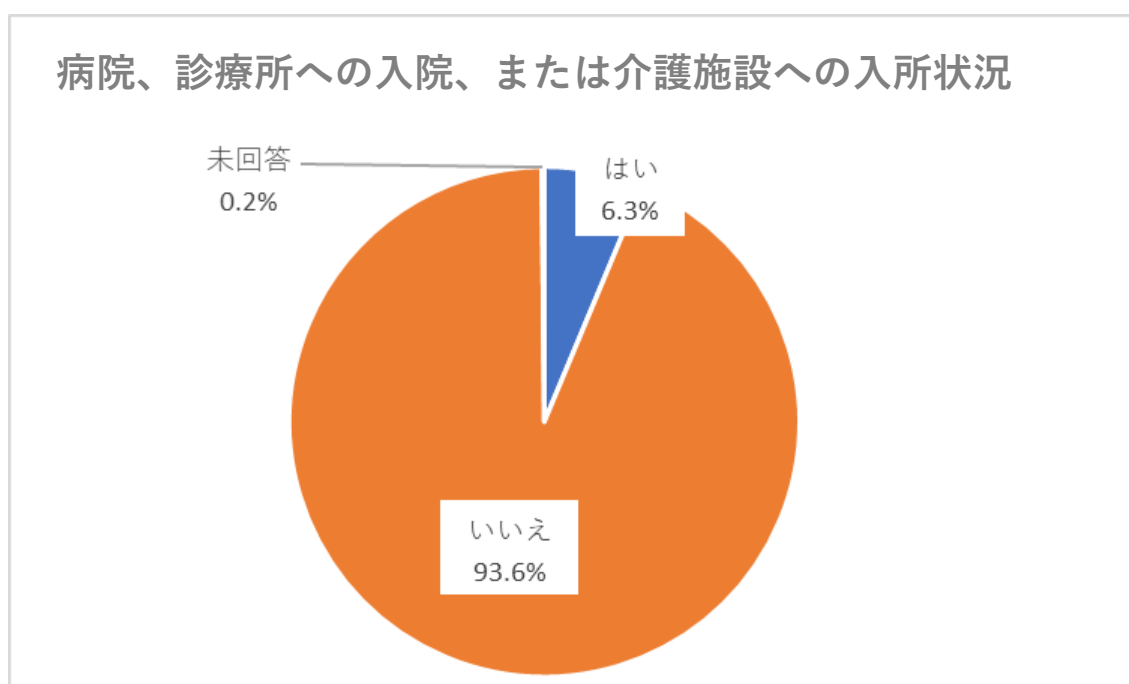
・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚について「はい」、または座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動について「はい」と回答した630人【665人】を対象に、休んでいるとき（座っているとき、または横になっているとき）と、体を動かしているときのどちらでこのように感じやすいかについて質問したところ、「休んでいるとき」と回答した方が287人（45.6%）【312人（46.9%）】と最も多かった。

・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚について「はい」、または座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動について「はい」と回答した630人の、このような感じがするときに起き上がったたり、動き回ったりすると、実際に動き続けているあいだは、その感じはいくらかでも軽くなるかについてみると「はい」が358人（56.8%）【349人（52.5%）】と最も多かった。

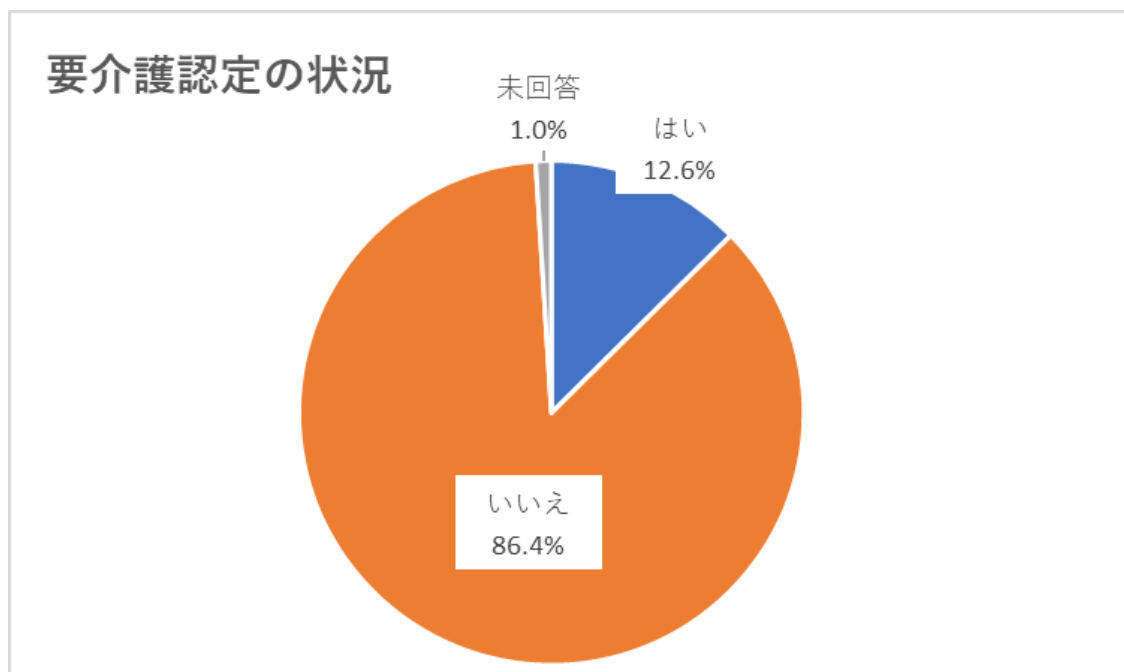
・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚について「はい」、または座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動について「はい」と回答した630人の、脚のこの感じは1日のうちどの時間帯でもっとも起こりやすいかについては、「夜」が230人（36.5%）【267人（40.2%）】と最も多かった。

(5) 介護や日常生活動作の状況について

・病院や診療所への入院、介護施設への入所状況についてみると、6.3%【6.1%】の方が入院中もしくは入所中であった。



・要介護認定の状況についてみると、164人（12.6%）【165人（12.3%）】、男性59人（9.5%）【61人（9.5%）】、女性105人（15.3%）【104人（14.8%）】の方が要介護認定を受けていた。



・また、要介護認定を受けている164人の方に現在利用している介護保険サービス（当てはまるものすべて）を質問したところ、「通所介護（デイサービス）」が28.0%【27.3%】と最も多く、次いで「ホームヘルパーの訪問介護・訪問看護」が18.3%【20.0%】の順であった。

(6) 現在の治療状況について

・現在の受診頻度についてみると、「毎月1~3回程度」が46.5%【47.8%】と最も多く、次いで「数か月に1回程度」が26.8%【26.2%】の順であった。

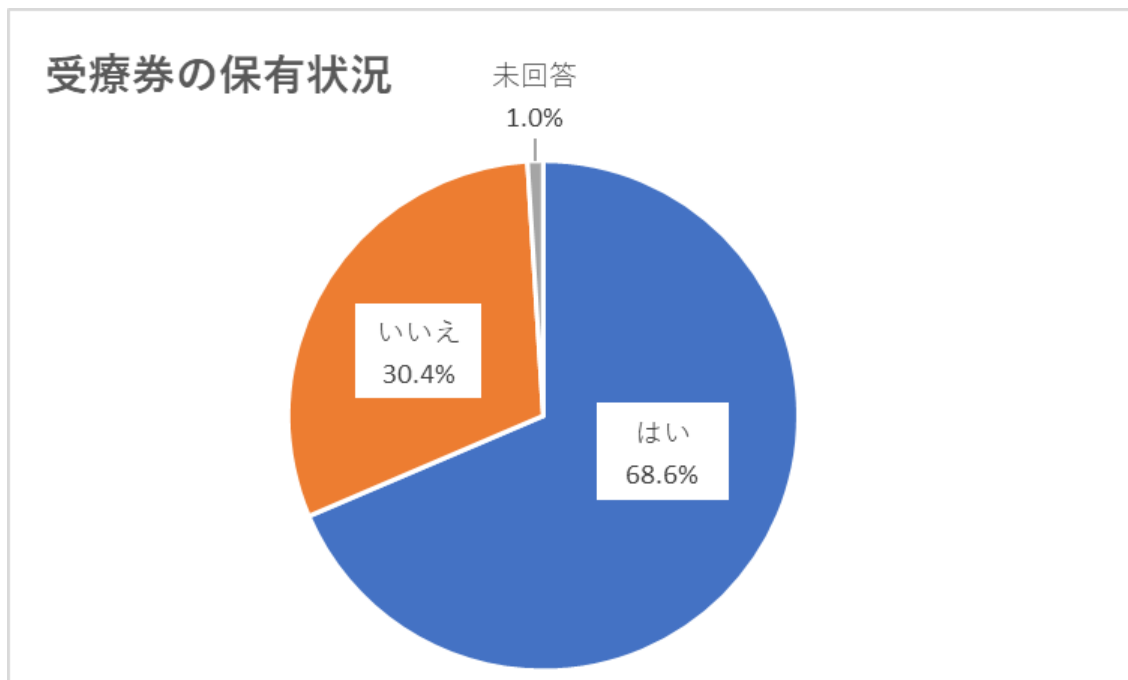
・新型コロナウイルスの影響により、普段の受診の頻度に変化（減少）があると回答した方は、176人（13.5%）【245人（18.2%）】で、男性61人（9.9%）【84人（13.1%）】、女性115人（16.8%）【161人（22.9%）】であった。

・また、新型コロナウイルスの影響により、普段の受診の頻度に変化（減少）があると回答した176人を対象に、受診頻度が変化（減少）した理由を質問したところ、「病院で新型コロナウイルスに感染するかもしれないため」と回答した方が119人（67.6%）【154人（11.5%）】と最も多かった。

・医師から処方されている薬があると回答した方は、952人（73.0%）【978人（72.8%）】で、男性440人（71.2%）【451人（70.4%）】、女性512人（74.6%）【527人（75.0%）】であった。

(7) 油症患者受療券（受療券）の利用状況について

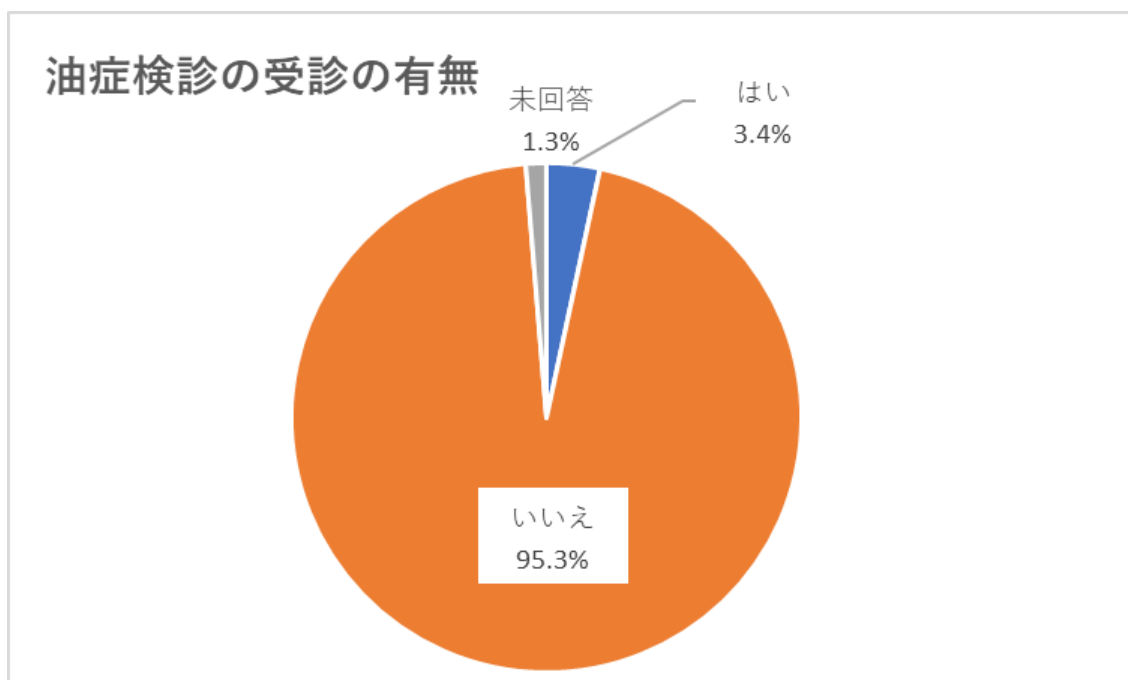
- ・受療券の保有状況についてみると、受療券を持っていると回答した方は 894 人（68.6%）【864 人（64.3%）】で、男性 416 人（67.3%）【400 人（62.4%）】、女性 478 人（69.7%）【464 人（66.0%）】であった。



- ・受療券を持っていると回答した方は 894 人のうち 540 人（60.4%）【507 人（58.7%）】が、この 1 年間、受療券を利用せずに受診した経験があると回答した。
- ・受療券を利用せずに受診した経験があると回答した 540 人を対象に、受療券を利用せずに受診した理由を質問したところ、362 人（67.0%）【331 人（65.3%）】の方が「受療券を利用できない医療機関のため」と回答した。
- ・受療券を所持していないと回答した 397 人（30.4%）【469 人（34.9%）】を対象に、受療券を持たない理由を質問したところ、157 人（39.5%）【189 人（40.3%）】の方が「受療券が利用できる医療機関に限られるから」と回答した。
- ・受療券の利用を希望する医療機関があるか質問したところ、85 人（6.5%）【66 人（4.9%）】の方が「はい」と回答した。

(8) 油症検診について

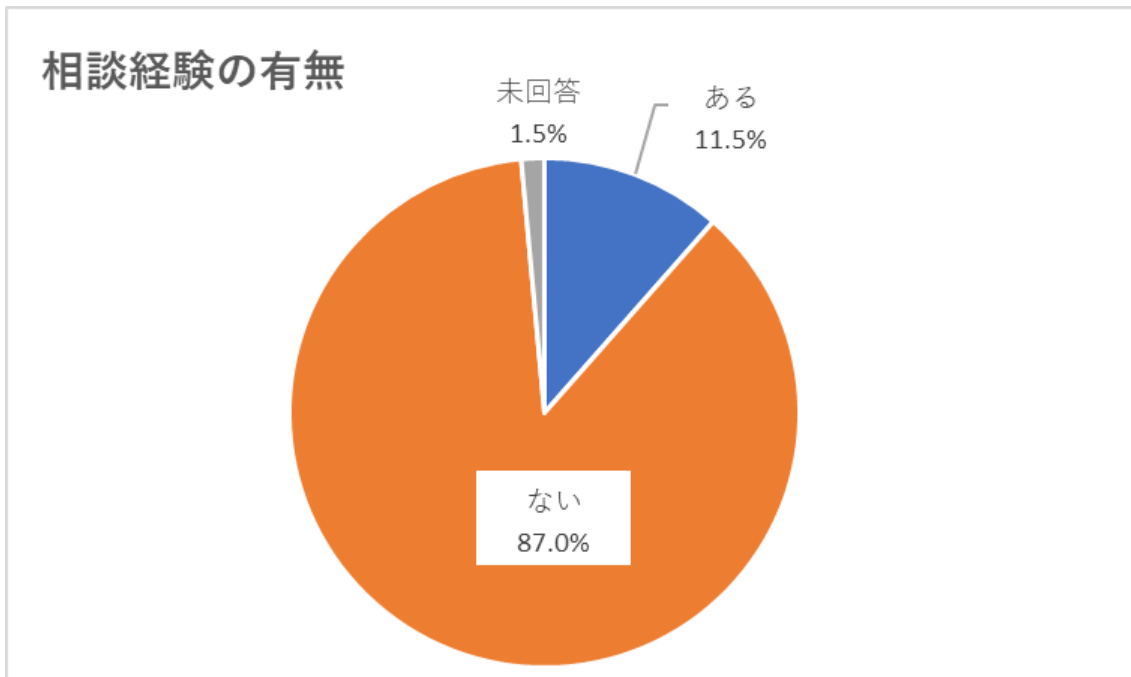
- ・油症検診の昨年度の受診状況についてみると、受診したと回答した方は、44人（3.4%）【71人（5.3%）】であった。



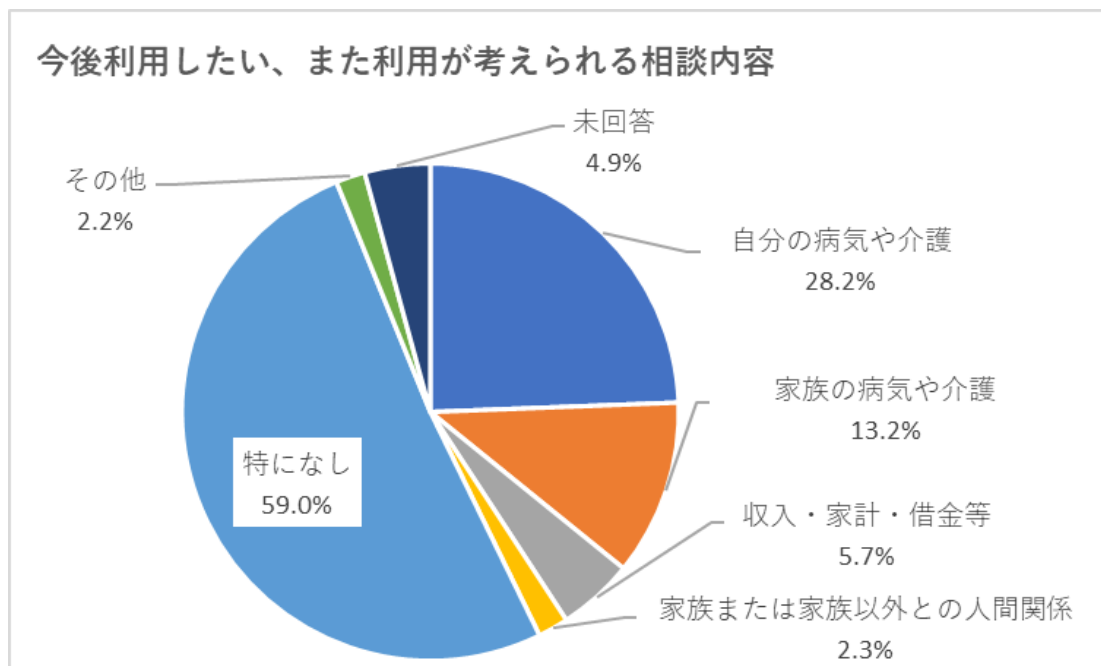
- ・油症検診を受診していないと回答した1,243人（95.3%）【1,259人（93.7%）】を対象に、受診しなかった主な理由を質問したところ、「新型コロナウイルスの拡大防止のために検診が中止又は一部縮小されていたから」と回答した方が449人（36.1%）【441人（35.0%）】と最も多かった。

(9) 相談体制について

- ・油症相談員や都道府県の相談窓口への相談状況についてみると、相談したことがあると回答した方は、150人（11.5%）【154人（11.5%）】であった。



- ・相談したことがないと回答した1,135人（87.0%）【1,179人（87.7%）】を対象に、今後利用したい、または利用されることが考えられる相談内容を質問したところ、「特になし」と回答した方が670人（59.0%）【622人（52.8%）】と最も多く、次いで「自分の病気や介護」と回答した方が320人（28.2%）【410人（34.8%）】、「家族の病気や介護」が150人（13.2%）【199人（16.9%）】の順であった。

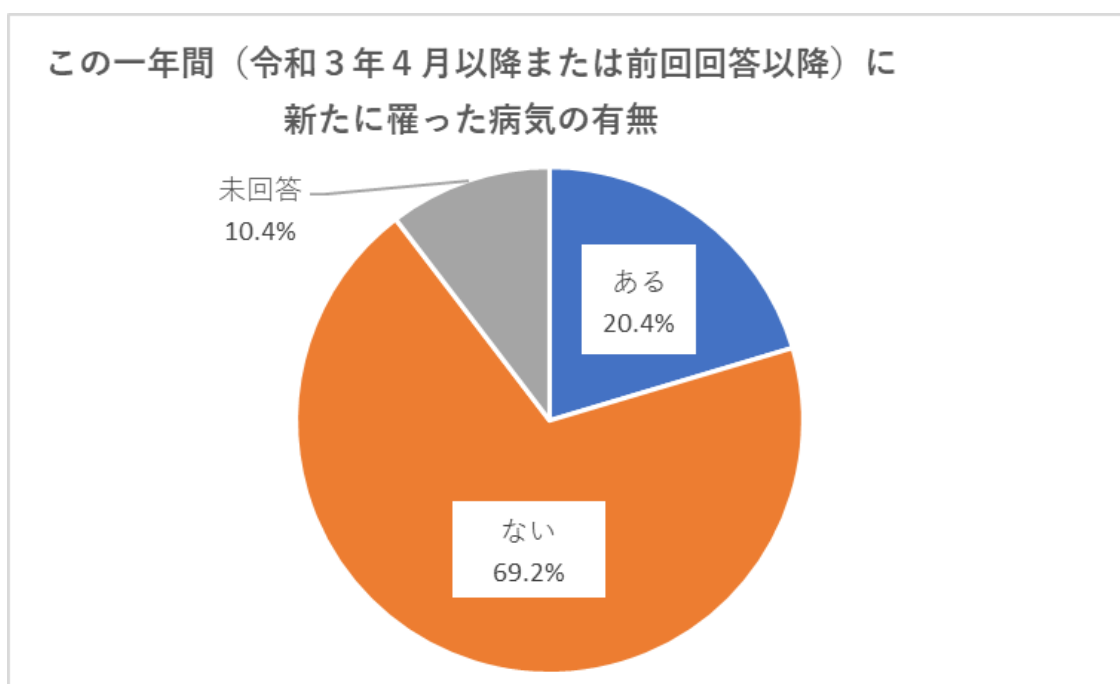


(10) 本調査の回答状況について

- ・本調査に回答するのは今回が初めてかどうかをみると、15人（1.2%）【14人（1.0%）】の方が「はい」と回答した。

(11) 本調査が初めてではない方の罹患と治療状況について

- ・本調査に回答するのは今回が初めてではないと回答した1,271人（97.5%）【1,321人（98.3%）】の方に、この一年間（令和3年4月以降または前回回答以降）に新たに罹った病気の有無を質問したところ、259人（20.4%）【276人（20.9%）】の方が「ある」と回答した。



- ・この一年間（令和3年4月以降または前回回答以降）に新たに罹った病気があると回答した259人【276人】に、具体的な病名を記述式で質問したところ、「皮膚疾患」が19人（7.3%）と最も多く、次いで「癌」が18人（6.9%）、「白内障」が17人（6.6%）の順であった。
- ・この一年間（令和3年4月以降または前回回答以降）に新たに罹った病気があり具体的な病名を記述式で回答した259人【276人】に、現在の治療状況を確認したところ、「医療機関で治療中」と回答した方が232人（89.6%）【241人（88.9%）】と最も多かった。

(12) 本調査が初めての方の罹患と治療状況について

- ・本調査に回答するのは今回が初めてと回答した15人(1.2%)を対象に、これまで罹ったことがある病気等の状況を調査したところ、
- ・悪性腫瘍(がん)について、これまで罹ったことがあるか質問したところ、1人(6.7%)が「ある」と回答し、その中で具体的な病名を質問したところ、1人が「乳癌」と回答した。
- ・悪性腫瘍(がん)の具体的な病名を回答した1人に現在の治療状況を質問したところ、1人が「がんに対する治療は終了し、定期的な検査のため通院中」と回答した。
- ・悪性腫瘍(がん)の具体的な病名を記述式で回答した1人に現在までに医療機関で受けたすべての治療を質問したところ、「外科手術(胸腔鏡・腹腔鏡手術を含む)」、「放射線療法」と回答した。
- ・脳・精神・神経の病気について、これまで罹ったことがある病気をみると、「頭痛」と回答した方が2件(13.3%)と最も多く、その中で「頭痛」は「医療機関で治療中」1件(6.7%)と「治療していない」1件(6.7%)であった。
- ・自律神経系の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「不眠症」と回答した方が4件(26.7%)と最も多く、すべて「医療機関で治療中」であった。
- ・眼の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「白内障」と回答した方が5件(33.3%)と最も多く、その中で「医療機関で治療中」2件(13.3%)、「医療機関での治療をへて治癒」1件(6.7%)、「治療していない」2件(13.3%)であった。
- ・口の中の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「歯周病(歯槽膿漏)」と回答した方が8件(53.3%)と最も多く、その中で「医療機関で治療中」7件(46.7%)、「医療機関での治療をへて治癒」1件(6.7%)であった。
- ・耳・鼻の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「めまい」と回答した方が5件(33.3%)と最も多く、その中で「医療機関で治療中」4件(26.7%)、「治療していない」が1件(6.7%)であった。
- ・甲状腺の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「甲状腺腫」「その他」と回答した方が共に1件(6.7%)あり、「甲状腺腫」は「医療機関での治療をへて治癒」1件(6.7%)、「その他」は「治療していない」1件(6.7%)であった。
- ・のど・気管支・肺の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「たん」と回答した方が4件(26.7%)と最も多く、すべて「医療機関で治療中」であった。
- ・心臓の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「不整脈(脈がとぶ)」と回答した方が3件(20.0%)と最も多く、その中で「医療機関で治療中」1件(6.7%)、「治療していない」2件(13.3%)であった。
- ・高血圧や血管の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「高血圧」と回答した方が8件(53.3%)と最も多く、すべて「医療機関で治療中」であった。
- ・肝臓・胆のう・脾臓の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、

- 「肝機能障害」と回答した方が1件(6.7%)あり、「医療機関で治療中」であった。
- ・すい臓の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「糖尿病」と回答した方が2件(13.3%)であり、すべて「医療機関で治療中」であった。
 - ・腎臓・膀胱の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「膀胱炎」と回答した方が2件(13.3%)と最も多く、その中で「医療機関で治療中」1件(6.7%)、「医療機関での治療をへて治癒」1件(6.7%)であった。
 - ・食道・胃・腸・肛門の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「大腸ポリープ」「便秘」と回答した方が共に4件(26.7%)と最も多く、その中で「大腸ポリープ」は「医療機関で治療中」1件(6.7%)、「医療機関での治療をへて治癒」3件(20.0%)、「便秘」は「医療機関で治療中」2件(13.3%)、「治療していない」2件(13.3%)であった。
 - ・血液・リンパの病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「脂質異常症(高脂血症)」と回答した方が3件(20.0%)で、その中で「医療機関で治療中」2件(13.3%)、「医療機関での治療をへて治癒」1件(6.7%)であった。
 - ・男性に対し、前立腺・男性機能に関する病気・症状について、これまでに罹ったことがある病気をみると、「前立腺肥大」と回答した方が3件(42.9%)あり、すべて「医療機関で治療中」であった。
 - ・女性に対し、子宮・卵巣・婦人科系の病気・症状について、これまでに罹ったことがある病気をみると、「子宮筋腫」と「月経不順」と回答した方が共に1件(12.5%)で、「子宮筋腫」は「医療機関での治療をへて治癒」、「月経不順」は「治療していない」であった。
 - ・初経の年齢を回答した5人の平均年齢は、15.2歳であった。
 - ・閉経の年齢を回答した5人の平均年齢は、52.6歳であった。
 - ・不妊症についてみると、「あり」と回答した方はいなかった。
 - ・妊娠回数についてみると、「3回」と回答した方が2件(25.0%)と最も多かった。
 - ・記載のあった妊娠中の状況を集計してみると、「特になし」が11件(64.7%)、「切迫早産」が1件(5.9%)、「その他」が1件(5.9%)であった。
 - ・記載のあった出産等の状況を集計してみると、「正常分娩」が8件(47.1%)、「人工流産」が4件(23.5%)、「自然流産」が2件(11.8%)、「早産」が1件(5.9%)であった。
 - ・記載のあった出産時の出血量を集計してみると、「中」が4件(44.4%)、「小」が2件(22.2%)であった。
 - ・記載のあった新生児の状況を集計してみると、「特になし」が8件(88.9%)、「低出生体重児」が1件(11.1%)であった。
 - ・骨・関節の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「腰痛」と回答した方が6件(40.0%)と最も多く、その中で「医療機関で治療中」3件(20.0%)、「治療していない」3件(20.0%)であった。
 - ・皮膚・爪の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「皮膚の掻痒(かゆみ)」と回答した方が5件(33.3%)と最も多く、その中で「医療機関で治療中」4件(26.7%)、「治療していない」1件(6.7%)であった。

- ・アレルギー疾患について、これまで罹ったことがある病気をみると「アレルギー性鼻炎」と回答した方が4件（26.7%）と最も多く、その中で「医療機関で治療中」2件（13.3%）、「治療していない」2件（13.3%）であった。
- ・膠原病について、これまで罹ったことがある方はいなかった。
- ・その他の症状について、これまで罹ったことがある症状をみると、「手足に痛みがある」と回答した方が5件（33.3%）と最も多く、その中で「医療機関で治療中」3件（20.0%）、「治療していない」2件（13.3%）であった。

(13) 自由記載欄について

本調査では、「これまでの症状や病気について、書ききれなかったことや、特に研究してもらいたいこと、要望など」について自由記入欄を設けたところ、257人【255人】から回答があった。

※主な記載内容

- ・自分、家族の健康に関する不安、生活上のストレス等について 139件【182件】
- ・職業（仕事）に関する苦勞について 2件【2件】
- ・経済的な苦勞について 9件【6件】
- ・治療法の研究開発への要望、期待 24件【43件】
- ・病院、医師、検診に関する要望 25件【35件】
- ・行政機関に対する要望 30件【47件】
- ・カネミ倉庫に対する要望 0件【1件】
- ・その他 72件【51件】